

会 議 事 録

1 会議名	平成25年度 第2回 長岡市障害者施策推進協議会
2 開催日時	平成26年3月18日(火曜日) 午後1時30分から午後3時頃まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	(委員)五十嵐委員 池野委員 石井委員 石川委員 加邊委員 角張委員 小林秀治委員 小林節子委員 土田委員 堀委員 本田委員 山本委員 (報告者)長岡大学 鯉江教授 米山准教授 (事務局)福祉保健部長 福祉総務課長ほか関係職員 福祉課長ほか関係職員 学校教育課長補佐 子ども家庭課長 保育課長 長岡市社会福祉協議会 中村事務局長
5 欠席者名	(委員)菊池委員 長井委員 沼田委員 嶋影委員 長谷川委員 丸田委員 丸山委員
6 議題	(1)長岡市障害者生活実態調査の報告について (2)長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について (3)その他
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課企画係長	1 開会 ただ今から平成25年度第2回長岡市障害者施策推進協議会を開会します。 本日、菊池努委員、長井亮委員、沼田夏子委員、長谷川剛委員、

委員長	<p>丸田秋男委員、丸山直樹委員は、所用のため欠席でございます。</p> <p>それから、嶋影委員より先ほど急に御都合が悪くなったとの連絡がありました。配席図につきましてはそのままお名前を掲載させていただいておりますが、御欠席ということでよろしくお願いたします。</p> <p>なお、沼田夏子委員の代理として、新潟いなほの会の村山裕子様から出席いただいております。</p> <p>まず、資料の確認をいたします。事前にお配りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 長岡市の障害者福祉の現状 ・資料 2 - 1 障害福祉サービス等利用実績 ・資料 2 - 2 平成 26 年度における数値目標について ・資料 2 - 3 長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 主要事業実施状況 <p>また、本日配付資料として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市障害者生活実態調査報告（概要） ・委員名簿 ・本日の配席図 ・平成 26 年度長岡市障害者就労施設等からの物品等の調達方針（案） <p>以上でございます。</p> <p>不足している資料はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議題に入ります。</p> <p>ここからは、委員長の進行でお願いします。</p> <p>皆様こんにちは。本日は障害者施策推進協議会の第 2 回目でございます。先回は去年の 5 月 9 日で、本日が 2 回目ということで第 3 期の計画についての内容となります。皆様の中でも障害者施策について色々な課題等あるかと思えます。長岡市全体で様々な施策を行うにあたり、皆様の声を聞きながら進めているわけですが、毎年計画を立てると同時に行っている実態調査について、先回 5 月 9 日のときに、なるべく早いうちに実態調査をしながら、それを参考にして進めていきたいと思いますという話がありました。本日はその報告と、25 年度どのように進んでいるか、進捗状況を審議いただきながら、</p>
-----	---

	<p>時間は3時過ぎまでとなります。時間通りに終わりたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p> <p>議題に入る前に、本日は傍聴者がいらっしゃいませんので、そのまま進めさせていただきます。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 長岡市障害者生活実態調査の報告について</p> <p>それでは、「2 議題」の「(1) 長岡市障害者生活実態調査の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>皆様本日は御出席ありがとうございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>長岡市障害者生活実態調査につきましては、集計・分析業務を「長岡大学」に委託しておりますので、報告いただきたいと思います。</p> <p>(資料に沿って説明)</p> <p>説明は以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>この実態調査は、障害種別、年齢別に分類しながら、ポイントとして就労状況あるいは意向、生活に関すること、介護保険サービスの利用、または現在受けている教育段階に応じた悩みだとか、利用状況についてなど、非常に重層的な形の調査をされております。</p> <p>それでは、今の説明に対して、質問や意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>確認なのですが、D票とE票について、高齢の施設入所者はどちらに入るのでしょうか。</p> <p>高齢の施設入所者についてはD票になります。18歳以上の施設入所者は全てD票です。</p> <p>わかりました。もう一点、E票の中の属性で、障害種別ごとの割合は調査の中にありますか。</p>
委員長	
福祉総務課長	
長岡大学	
委員長	
委員	
長岡大学	
委員	

長岡大学	E票の中の要介護度別という理解でよろしいでしょうか。
委員	いいえ、手帳の種類ごとの比率です。
長岡大学	はい。身体、療育、精神、3障害とも区別しています。概要の中では入れませんでした。が区別になっています。
委員	割合は把握されているということですね。もう一点お聞かせ願いたいのですが、32ページの高齢者の介護保険サービス利用状況というところで、「受けていない」という回答が54.0%で圧倒的なのですが、これはそもそも介護認定の申請自体をしない、ということなののでしょうか。申請する必要がないからしなかったのか、それとも申請したいが認定されなかった、どちらなのでしょう。
長岡大学	すみません、そこまでは調査票では分かりません。
委員	それについて補足しますが、基本的には申請しなければその先の利用は一切進みませんので、申請するかしないかは、本人の周りの状況や、周りにいる人の意見等で決まってしまう。この調査からは分からないですが、どちらかというとも基本的に自分の状態は大したことないと思って申請しないのが大半ですね。
委員長	このページの調査に関しては、障害をお持ちの65歳以上の人で、介護保険サービスを利用していない、もしくは申請していない人、という理解の仕方よろしいでしょうか。サービスを受けていない54.0%はそういうことだそうです。 その他、皆さんのほうでいかがでしょうか。
長岡大学	22ページの年齢別の就労状況ですが、これは全体に対しての調査ということになっていますが、間違いで知的障害の方だけの掲載になっています。
長岡大学	はい。図表の表示番号を見ていただくと、「図表 - B - 7」となっていますので、B票、知的障害の方への表となります。すみませんでした。

委員	<p>細かいことではないのですが、こういう調査の際に注意した方がいいと思うのは、病気の定義でもって自動的に決まるものがあるということ。会社に勤める、自宅にいる、あるいは社会復帰したい、したくない等ありますが、これは実は定義として、精神障害の場合、社会性の障害というものがありますので、その場合には自動的にそのような結果になります。これはたまたまそういう状態の人を精神障害と呼んでいるためにそのような結果になるのであって、特別というわけではありません。一般的に言うと社会性が障害されている場合に精神障害となりますので、就職しても人との付き合いが上手くいかない、長くできない、社会に出にくい、施設に残りたい、という意向が出るのは、実は病気の定義からなっていると考えられます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。社会性の阻害が要因になってしまい、それが就労に結びつかない、相関関係にあるということでした。</p>
委員	<p>精神障害の場合、人との接触が難しいので、長く勤めることができない、等様々なことがあります。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、よろしいでしょうか。非常に中身の濃いアンケートであり、ここから見えてくる内容が色々な形で次の施策に、あるいは今の施策を助長させる、進化させることもあるかと思います。</p> <p>事務局のほうは特に何かありませんか。</p> <p>この実態調査は25年度に進めていただいていたわけですが、長岡大学には様々な福祉の関係の調査や高齢者調査もお願いしていて、客観的で、実態的な調査をしていただいたその報告でした。集計・分析、大変ありがとうございました。</p>
委員長	<p>(2)長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について それでは、次の議題に入ります。</p> <p>「(2) 長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
福祉課長	<p>私からは、長岡市障害者基本計画・障害福祉計画の進捗状況のう</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>ち、障害福祉計画の部分につきまして、資料 No. 1、資料 No. 2 - 1、2 - 2 を使いまして御説明をさせていただきます。</p> <p>(資料に沿って説明)</p> <p>以上です。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、資料 2 - 3 をご覧ください。</p> <p>(資料に沿って説明)</p> <p>以上です。よろしくお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただ今、事務局から二つの進捗状況の報告がありました。サービスの利用状況あるいは進捗状況、そしてもう一つは主要事業の関係について、基本的に細かく資料が出ていますが、今の説明に対して、質問や意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>資料 2 - 2 の移行の関係ですが、目標値を作るときに国へ目標の数字を一度出すと、「もっとこうすべき」等と指導が入り、非常に大変でした。ですので、数字から見ると、目標に対して、という部分がございますけれども、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、ただ今は進捗状況でございますので、また最後に一言いただく時に、今の説明に対しての部分もお聞きすることにして、終わりたいと思います。</p> <p>今日は議題としては、先ほどの実態調査で年齢別、障害種別、サービスに関する事、就労に関する事、生活に関する事、等それらについて非常にきめ細かく数字が出ています。</p> <p>施策の中で、より伸ばす所は伸ばし、充実させる所は充実させ、次期の計画へと活かし、そしてここにある計画等を施策の中で、是非この数字を活かしながらやっていただきたいと思います。</p> <p>以上で、議題(1)(2)を終わりたいと思います。</p> <p>(3)その他</p>

委員長	<p>では、「(3) その他」ですが、事務局から何かありますでしょうか。</p>
福祉課長	<p>はい。本日机上に配布いたしました「平成26年度長岡市障害者就労施設等からの物品等の調達方針(案)」をご覧くださいと思います。</p> <p>(資料に沿って説明)</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>はい。その他のところで、障害者就労施設等からの物品等の調達方針は市としてこのように定めているので、積極的に調達をしていきましょう、ということでした。</p> <p>それでは次をお願いいたします。</p>
福祉総務課長	<p>はい。委員の任期ですが、この3月31日をもちまして満了となります。</p> <p>そのため、本会議が、現在の委員の皆様にご出席いただく最後の会議となります。</p> <p>最後に、委員の皆様から、一言ずつ御感想等をいただけたらと思いますので、順番をお願いいたします。</p> <p>(委員あいさつ)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他のところで、今、福祉総務課長から音頭を取っていただいて、皆さんの任期がこの3月31日で終わりとなるにあたってのお話をいただきました。今のお話は、数値だけでなく、こうやって皆さんと話している中で出てきた内容だと思います。本会議には、八口ワークの方も、学校からも、あるいは医師会からも、施設や各団体からも、委員として出席しておられます。このような横のつながりの中から、先ほど話に出た、個々のケースもあるということもお話しながら、縦と横の線を結んでいきたいと思っております。皆さんのお話を聞かせていただいて、これが重要だということも感じております。</p>

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>そのほかよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、3年間、第3期の計画を作りながら進んできて、この3月31日でまた新しい節目を迎えることとなります。私の議事進行はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>進行を事務局のほうにお返しします。</p> <p>3 閉会</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>閉会にあたりまして、福祉保健部長よりあいさつ申し上げます。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>それでは、閉会にあたりまして、一言お礼の言葉を申し上げたいと思います。</p> <p>皆様におかれましては、この3年間、長岡市障害者施策推進協議会に御参加いただきまして誠にありがとうございました。今ほど一言ずつ非常に貴重な御意見もいただきまして、深く感じているところであります。御承知のように、障害者をとりまく環境は、この総合支援法が、色々紆余曲折ありましたが昨年成立しまして、この4月1日で完全施行となる段階にきています。これは日本が国連の国際条約に批准するという大目標の中で達成できたことの一つの成果でございます。枠組みだけはまず国際標準にのったということは、非常に画期的なことだと思っています。と言うのも、障害の福祉施策というのは、なかなかその時々の中でも、遅々として進まない部分もこれまでであったかと思うのですが、これが国際標準の中で評価をされ、定期的に国際的なレベルの中で見ていかれる、という枠組みに入ったことが大きな事実であります。中身としては、これから一つ一つ市の政策を具体的にやっていく必要があるものが非常に山積しておりますが、その枠組みの中で、大きな転換点になるのではないかと考えています。</p> <p>具体的に先ほどの御意見の中でもありましたように、政策的には、在宅への移行というのが大きなテーマになっておりますが、一方では施設の入所によって安心を得たい、という声が先ほどの意向調査にもありますように、一定の需要としてあります。ですので、私どもはこれは高齢者福祉についても同じことが言えると思っております。国の方向性としては在宅強化が言われておりますが、しかしそれは、方向性として政策を展開する上での動きであります。</p>

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>依然として高齢者福祉においても、施設入所の需要は一定としてあります。よって、私どももそこはバランスを取りながら、長岡の現場の実態に合った整備の仕方やサービスの仕組み作りを考えていかなばならないと考えております。</p> <p>また、社会参加というのも一つ大きなテーマではありますが、先ほど所長さんからもお話があったように、就労についてもこの数年で非常に成果が出ております。しかし、なかなか就職に結びつかないとしても、障害者の方が何らかの社会活動に参加するチャンスを得るということを、今後も継続した視点として、私ども行政もあらゆる機会の可能性があればそのようなことにチャレンジする姿勢を持っていかなければならない、大きなテーマだと思っております。</p> <p>また他にも障害者を取りまく課題は山積しておりますが、改めてこういった課題について整理をしながら、来年度はいよいよ第4期ということで、計画の策定に進めさせていただきます。今日は、このような形で、3年間でこのメンバーの皆様とはひとまず終了させていただきますが、また新しい年度に入りましたら、改めて次期計画の策定を進めていきたいと思っておりますので、皆様方から、今日に限らず今後とも様々な立場で御意見をいただいてまいりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>この会議の議事録は、後日お送りいたします。長岡市ホームページにも掲載いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>お車でお越しの方は駐車券の無料処理をさせていただきますので、閉会后、事務局までお声掛けください。</p> <p>本日はこれで閉会とさせていただきます。</p> <p>皆様、お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>
<p>8 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>